

# 児童館 だより

児童館は、児童に健全な遊び場・機会を提供し、子どもが心身ともに豊かな発達ができるように支援するところです。行事の詳しい内容は児童館にお問い合わせください。なお、市ホームページに児童館だよりを掲載しています。



▲市ホームページ児童館だより



※お金やゲームなど貴重品は持ってこないように、また、持たせないようにしてください。

## 東児童館

☎248-5203

### つくしぼ参加者 引き続き募集中

就園前の乳幼児とその保護者を対象に、子育ての応援を行なっています。季節の行事や工作、運動遊びなど、一緒に活動を楽しみますか。皆さんの参加をお待ちしています。

- と き** 毎週木曜日  
午前10時30分～(1時間程度)
- 対 象** 0歳～就園前までの乳幼児とその保護者
- 定 員** 先着20組
- 参加費** 無料(母親クラブに加入する場合は年会費負担あり)  
※児童館窓口または電話でお申し込みください。



開館時間／午前8時30分～正午  
午後1時～5時  
休館日／月曜日、第2日曜日、祝日

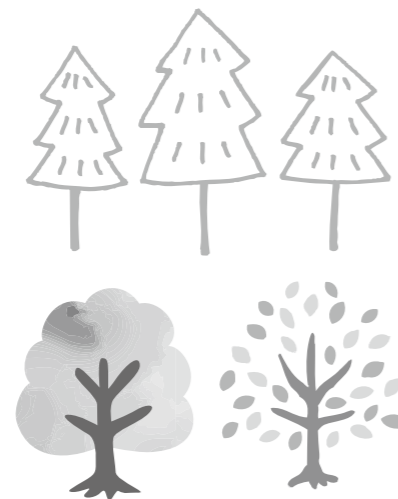
## 泉ヶ丘市民センター 児童館

☎248-3453

### のびのびキッズ・母親クラブ 説明会を中止します

3月17日(火)に予定していたのびのびキッズと母親クラブの説明会は中止します。申し込み受け付けは予定どおり3月17日(火)から行ないます。詳しくはお問い合わせください。

3月21日(土)、22日(日)は熊本県知事選挙の投票所となりますので、休館します。



開館時間／午前8時30分～正午  
午後1時～5時  
休館日／月曜日、第2日曜日、祝日

## 西児童館(ふれあい館内)

☎242-7008

### 春を感じよう たけのこ掘り

- と き** 4月4日(土) 午後1時～  
※雨天中止。
- と ころ** 竹迫城跡公園近くの竹山(上庄)
- 対 象** 小学生以上の子どもとその家族  
(きょうだいの幼児であれば同伴可)
- 定 員** 先着10組程度
- 参加費** 1人100円
- 内 容** たけのこの見つけ方、掘り方、皮のむき方などを習います。
- 持ってくるもの** 汚れてもいい服装、軍手、長靴、飲みもの
- 申込開始** 3月24日(火) 午前9時～
- 申込方法** ふれあい館窓口で入金後、本予約となります。  
(電話での仮予約可)



※状況により中止する場合があります。

開館時間／  
(月～土曜日)午前8時30分～午後5時15分  
(日曜日)午前9時～午後5時15分  
休館日／祝日、第4月曜日

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3館ともに3月に実施予定の行事などは中止します。中止に関しては各児童館にお問い合わせください。また、来館時には手洗いや手指の消毒、咳エチケットなどへのご協力をお願いします。

# ヴィーブル & コミュニティ情報

申し込み・問い合わせ先 **ヴィーブル** ☎248-5555

トレーニングルームと歴史資料館は点検のため、3月31日(火)が休館日です。

## ヴィーブル子ども劇団 第19回公演は延期します

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月7日と8日に公演を予定していましたが『ヴィーブル子ども劇団第19回公演 よみがえれ八龍』は延期になりました。

### ▼延期開催予定日

- 5月5日(火) 午後3時 開演
- 5月6日(水) 午後2時 開演

※新型コロナウイルスの終息状況によっては、さらなる延期も予想されます。現在お持ちの公演のチケットは、そのまま大切に保管してください。今後の日程やチケットについては決まり次第、市ホームページでお知らせします。

## 3月の市民講座と 生涯学習課主催講座を中止します

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月に予定していた市民講座と生涯学習主催講座を全て中止します。中止する講座は次のとおりです。

### 市民講座 閉講式

実施予定日 3月27日(金)

『1人になるまでどう生きるか、1人になったらどう生きるか?』

### 生涯学習主催講座

- ①韓国料理教室
- ②エクセル中級教室
- ③LINE入門講座
- ④爪の豆知識とアロマの効果講座
- ⑤iPad活用講座
- ⑥コンテナガーデニング教室
- ⑦タイ料理教室
- ⑧健康の秘訣は継続なり!  
～自宅でできる健康チェック～教室
- ⑨プレゼントしたくなるパンづくり教室

## こうし歴史発見

### 第68回

●問い合わせ先  
生涯学習課 生涯学習班  
☎(248) 5555

## 文化財 愛楽寺跡

野々島地区には二子山石器製作遺跡(国指定史跡)をはじめ、数多くの文化財があります。今回は、それらの中から愛楽寺跡を取り上げ、野々島地区の歴史を紹介いたします。

愛楽寺跡には現在、薬師堂・板碑2基が残されています。薬師堂の堂内には焼けた仏像が祭られており、そのうち1体(仁王像)は平安時代に作られたものです。板碑2基は逆修碑といって、生前葬を行なうために建立されたものです。戦乱の世で常に死と隣り合わせの状態であったため、このような風習が生まれました。

愛楽寺跡の南側にある花園土塁跡(六華子ども園付近)には、現在も80四方の土塁が一部残っており、そこに中世の城館があったといわれています。さらに、南北朝時代に、懐良親王がこの地に御所を構えたという伝承や、シヨウグンイド、オオミカドなどの地名が残っています。この地域には愛



▲寄贈された石製標柱

愛楽寺板碑群 文化財石製標柱の寄贈ありがとうございました。橋本石材店の橋本柳子代表(外園)から標柱が寄贈されました。愛楽寺板碑群の文化財木製標柱の倒壊を受け、建立が申し出られました。心温まる優しい思いが込められたこの標柱を大切に使用します。

楽寺をはじめ多くの石造物が残っており、かつて花園土塁を中心として寺院や村が広がる野々島の中心地であったと考えられます。※愛楽寺跡などの詳しい地図は市ホームページをご覧ください。▼

